



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## 育苗期・定植時の防除

	は種直後	本葉2～3葉期	定植前
薬剤名	タチガレン液剤	オーソサイド水和剤80	ペリマークSC
IRAC/FRAC	32	M04	28
適用病害虫	苗立枯病	苗立枯病	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミヤカ類
希釈倍数/使用量	500～1000倍	800倍	400株あたり25ml
使用方法	苗床灌注	灌注	灌注
使用時期	は種直後	は種後から2～3葉期	育苗期後半～定植当日
使用回数	1回	5回	1回



防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！  
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！



### 害虫対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミツバチ
4A	アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2000～3000倍	7日前	2回	14日
4C	アブラムシ類・コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	1000～2000倍 (アブラムシ類:2000倍)	前日	3回	10日
21A 39	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミヤカ類 うどんこ病	ハチハチ乳剤	1000～2000倍 (コナジラミ類・うどんこ病:1000倍)	前日	2回	-
21A	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類	サンマイルフロアブル	1000～1500倍	3日前	2回	4日
25A	ハダニ類	スターマイルフロアブル	2000倍	前日	1回	1日
25B	ハダニ類	ダニコングフロアブル	3000倍	前日	1回	1日

### 病害対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミツバチ
10,1	炭疽病	ゲッター水和剤	○	○	1500倍	前日	5回	0日
11,7	うどんこ病・褐色腐敗病 菌核病・炭疽病・つる枯病	シグナムWDG	○	○	1500～2000倍 (褐色腐敗病・菌核病:1500倍)	前日	3回	0日
12	菌核病・炭疽病	セイビアーフロアブル20	○	-	1000倍	前日	3回	0日

## フルボディ

NPK  
8-5-5

腐植酸(フルボ酸・フミン酸)→土壌の団粒化  
海藻抽出成分配合→移植後の新根発生能の向上



定植ストレスを軽減・活着促進！

育苗期・定植前 1,000～2,000倍 灌注

## フセキワイド フロアブル

うどんこ病に優れた予防効果！  
新規作用機作のピリダクロメチル含有

1,000倍 / 収穫前日 / 4回以内  
うどんこ病・つる枯病

※バルコート水和剤・フロアブルとの使用回数注意

